

まちの姿5

みらい “つながる”



- 分野14 環境・景観保全
- 分野15 人権尊重・多様性
- 分野16 行財政運営



分野
14

環境・景観保全



目指す姿

人と自然が調和するなかで安全な暮らしが守られ、
美しい景観が息づく快適に暮らせる環境が整っています。

さつま町のいま

- 町民へのごみ分別の意識啓発のほか、自然と共生する環境の保全、環境に配慮した住宅整備への支援などを進めています。
- 循環型社会の形成や自然とともに生きるさつま町の環境を維持していくために、適正な環境対策と保全、再生可能エネルギーの活用などが必要です。

進捗管理指標

- 環境学習出前講座参加者数
- 資源ごみリサイクル率

成果指標

	R6	R12
快適に生活ができる環境だと思う町民の割合	57.7%	▶ 65.0%
家庭でごみの分別（ごみの資源化）を行っている割合	82.9%	▶ 85.0%



関連計画

- 一般廃棄物処理基本計画
- 地球温暖化対策実行計画
- 過疎地域持続的発展計画
- 地方創生に向けた地域エネルギービジョン
- 環境基本計画
- DX推進計画
- さつま町建設計画
- 農山漁村再生可能エネルギー法に基づく基本計画
- 生活排水処理基本計画
- 分別収集計画

1

多様な生物が息づく山河を保全します

- 自然とともに生きるさつま町の魅力の発信や環境教育を通じて、環境や景観の保全に向けた意識を高めます。
- 河川や山林の整備のほか、国や県とも連携した人と自然がふれあうことができる公園の整備を進めます。
- 地域の公園や緑地について、地域やボランティアと連携した緑化・美化活動を推進します。
- 天然記念物をはじめとする野生動植物等について、保護対策と生息環境の管理、外来種に関する適切な情報提供と防除活動を推進します。

まちのみんなのできること

- 美しい自然環境を守るため、環境美化活動や自然学習に参加しましょう。

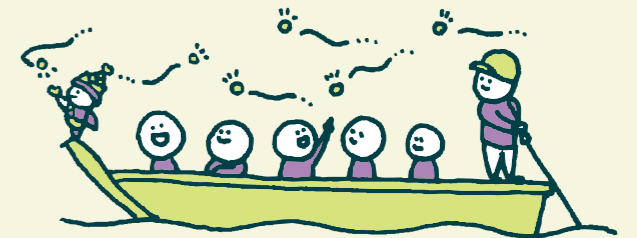
2

環境美化と循環型社会の形成に取り組みます

- 周囲の環境に十分配慮しながら、再生可能エネルギーの導入を推進します。
- 廃棄物処理施設などの環境美化に関する施設の適切な整備に努めます。
- 不法投棄の防止やごみの分別や減量に向けた啓発活動を進めます。

まちのみんなのできること

- ごみの分別や減量化、リサイクルに取り組みましょう。
- 節電・節水や省エネルギー製品を選ぶなど、環境への負荷の少ない生活を心がけましょう。



人権尊重・多様性



目指す姿

多様な人々が認め合い、交流し、誰もが自分らしく暮らせるまちになっています。

さつま町のいま

- 関係団体の活動により、人権教育や女性活躍、国際交流や多文化理解の取り組みが進められています。
- 性別や国籍など、あらゆる属性や文化の違いにかかわらず、お互いを理解し、認め合う共生社会の実現に向けた取り組みを進めていく必要があります。

成果指標

	R6	R12
各種審議会等の女性登用率	21.3%	▶ 30.0%
地域に住む外国人と接点があると答えた割合	18.3%	▶ 25.0%
人権イベント来場者数	250人	▶ 400人



進捗管理指標

- 多文化交流イベントの年間延べ参加者数
- 人権教育年間実施回数

関連計画

- 過疎地域持続的発展計画
- 教育振興基本計画
- さつま町建設計画
- 職員ワーク・ライフ・バランス推進プラン
- 人権教育推進計画
- 男女いきいき幸せプラン
- DX推進計画

1 実施の方向性

お互いを知り尊重できるまちにします

- 人権尊重に向けた教育や普及活動を行うとともに、人権相談に関する支援体制の充実に取り組みます。
- 暴力や虐待が発生した際に、適切な支援が行われるよう、関係機関と連携を強化します。

まちのみんなのできること

- 差別やいじめを許さず、互いに認め合い人権を尊重する地域をつくりましょう。
- 周囲で暴力や虐待が疑われる場合は、相談窓口や警察に通報しましょう。

2 実施の方向性

誰もが活躍できるまちにします

- 男女共同参画に関する啓発や、役場の管理職、委員会への女性登用を推進します。
- 地域で男女共同参画に関する活動を行う団体を支援します。
- 男女がともに仕事や家庭に参画できるよう、ワーク・ライフ・バランスの啓発を進めるとともに、働く場や家庭、地域活動などでの活躍を推進します。

まちのみんなのできること

- 性別等にかかわらず一人ひとりの個性を尊重しましょう。
- 職場・家庭において、男女がともに活躍できるよう、配慮しましょう。

3 実施の方向性

多文化共生の地域づくりを進めます

- 文化の違いや一人ひとりの違いを理解し共生できるよう、多文化交流を推進します。
- 外国籍の町民にも配慮した行政サービスの提供体制を整備します。
- 地域活動への参加呼びかけや地域の生活ルールの共有、災害時の配慮など、地域コミュニティに参画し、ともに生活できる環境づくりに取り組みます。

まちのみんなのできること

- 外国籍の人も含めた、地域で誰もが交流できる機会をつくりましょう。

行財政運営



目指す姿

限られた資源を有効に活用しながら人材育成と健全な財政運営を両立させ、町民一人ひとりの声に寄り添った行政サービスが充実しています。

さつま町のいま

- ふるさと納税等の活用による財源確保や職員研修によるスキルアップを進めています。
- 町内の施設や組織などで、町単独で維持することが難しいものもあり、広域での連携による持続可能な行政運営に向けた検討が必要です。
- 行政サービスの利便性向上や業務効率化に向けて、デジタル技術の活用を検討していく必要があります。

成果指標

	R6	R12
経常収支比率	90.4%	93.0%以内



進捗管理指標

- 町公式 SNS フォロワー数 (合計)
- 職員の育休取得率
- 実質公債費比率
- 町税徴収率

関連計画

- 過疎地域持続的発展計画
- 行政改革推進計画
- 行政改革大綱
- さつま町建設計画
- 職員ワーク・ライフ・バランス推進プラン
- 職員人材マネジメント基本方針
- 障がい者活躍推進計画
- 新型コロナウイルス感染症対応業務継続計画
- 中期財政計画
- 定員管理計画
- DX 推進計画

施策の方向性

1 行政サービスの向上を図ります

- ICT・IoT などのデジタル技術の活用や電子決裁等の導入を推進し、業務効率化と行政サービス向上に取り組みます。
- 町民が行政の取り組みを知り、必要とする情報を得ることができるよう、町ホームページや広報紙、SNS など、幅広い方法を活用して情報を発信します。
- 情報資産の活用と保護に向け、情報公開制度、個人情報保護制度を条例に基づき適正に運用します。
- 地域での座談会やアンケート、SNS、パブリックコメント等を活用し、町民の声が町政に反映しやすい環境をつくります。

まちのみんなのできること

- 新たに導入される行政サービスを積極的に利用してみましょう。
- 行政から発信される情報に目を通し、自分の必要とする情報は積極的に収集・活用しましょう。



施策の方向性

2 限られた人材を大切に、実行力のある行政組織をつくります

- 国や県などとの職員派遣・人事交流や研修の充実などに取り組むとともに、職員の適正な定員管理、意欲やスキルのある新たな人材の採用を進めます。
- 育児休暇をはじめとする休暇を取りやすい環境をつくるとともに、行政職員の働き方改革を進め、ワーク・ライフ・バランスの実現と働きやすい環境を整えます。
- 職員の一人ひとりが知恵やアイデアを出しやすい環境をつくることで、課や係の垣根を超えて職員間のコミュニケーションを活発にし、活力と実行力のある組織づくりを進めます。

まちのみんなのできること

- まちづくりへの参加を通じて、行政職員と交流しましょう。

用語解説

IoT: Internet of Things の略で「モノのインターネット」の意味。家電や車、工場の製造ラインなどの様々な「モノ」をインターネットに接続し、離れている場所から操作をしたり、状況を確認できるようにする技術。